

平成23年度 第1回社会教育委員会議 会議録

平成23年5月18日(水) 13時30分 庄内町立川庁舎「大会議室」に社会教育委員を招集し、社会教育委員会議を開催。

1. 出席した委員は次のとおり。
堀江信、椎名和美、佐藤富美、齋藤良一、富樫良秋、佐藤啓子、石井玲子、井本美和子、田澤啓二、志田啓子、廣田幸記、秋葉俊一。
2. 欠席した委員は次のとおり。
志田征子、今野美恵子。
3. 出席した職員は次のとおり。
教育長池田定志、社会教育課長吉田健一、課長補佐阿部勉、主査兼社会教育係長佐々木弘喜、主査兼図書館係長本間洋子、スポーツ振興係長阿部浩。
4. 会議の次第は次のとおり。
 - 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 自己紹介
 - 4 議長並びに副議長の選出について
 - 5 議長あいさつ
 - 6 議事録署名委員の指名
 - 7 協議
 - 8 その他
 - 9 閉会
5. 協議事項は次のとおり
 - (1) 平成23年度 庄内町の社会教育基本方針等について
 - (2) 平成23年度 社会教育・社会体育関係団体補助金(交付金)について
 - (3) 平成23年度 社会教育委員活動予定について
 - (4) その他
6. 会議の内容は次のとおり。
13時30分 開会

社会教育課長

社会教育委員の職務としては、社会教育に関する諸計画を立案すること、教育委員会の諮問に応じ意見を述べること、職務に必要な調査研究を行うことなどとなっている。2年間の任期となりますのでよろしく申し上げます。

教育長

(委嘱状交付) 代表 堀江信委員

教育長

多賀城二中の体験旅行で141人が来町している。庄内町の子供と同じように対応してくれてありがたい。震災に見舞われても、頑張っていく心を新たにしている。

委員・職員

(自己紹介)

(議長並びに副議長について、事務局案により議長に富樫良秋委員、副議長は議長の指名により齋藤良一委員に決定。)

議長

社会教育の課題が山積している。みなさんからのご協力をお願いしたい。

議事録署名委員に佐藤富美委員、佐藤啓子委員を指名。

(1) 平成 23 年度の庄内町社会教育基本方針等について
社会教育課長補佐
(庄内町社会教育の基本方針と重点施策について説明)

教育長

(庄内町教育委員会の重点と施策について説明)

主査兼社教係長

(社会教育係事業概要について説明)

スポーツ振興係長

(スポーツ振興具体的施策について説明)

主査兼図書館係長

(町立図書館運営計画について説明)

社会教育課長補佐

(各公民館事業概要について説明)

議長

子どもたちが何かをやることから地域の活性化、子供の自立に繋がって行くのでは。

委員

子どもたちはやってもらっただけで、地域のために何かをすることがない。神社の掃除できれいにするなど認識させるのもいい。

委員

家庭でもお客様で、自立心が失われていく理由のひとつではないか。

委員

一步踏み出す機会、チャンスを与えると色々な事を覚える。月 1 回登下校に道を見つめる機会を持つのもいい。ゴミ拾い運動など意識づくりが大切である。

教育長

ボランティアや、みんなのためにといった社会奉仕が大切であり、自分ができることをやっていく活動が効果がある。商工会とのあいさつ運動を計画しているが、あいさつで人や心が変わっていく。

議長

あいさつは家庭が基本である。

委員

家庭や地域、庄内総合高校もあいさつする。さわやかな気持ちになる。

教育長

教育の土台は家庭教育にある。PTAとの連携で進めてほしい。

委員

少子化の影響で親が過保護にしてしまう。冬になるとバス通学になるところもあるが、吹雪にどう耐えるかも必要ではないか。対外的に、庄内町はこれでいいのか専門的な評価は大事である。

委員

震災は大きなインパクトがあった。年度初めは生徒に適度な緊張感があり、避難訓練は整然としていた。今だからこそ、心の持ち方が違ってきた。自分の成長に関わることと、世のため人のためになることという2つの目標を立ててほしいと話をしている。学校ができる地域づくりとして社会教育にお手伝いできることがある。

委員

立川小となり、公民館で変わってきた部分はどんなところか。

社会教育課長補佐

立谷沢公民館の和太鼓に狩川から1名参加している。清川公も子供達の数が少ない事で、悩みながら進めている。

教育長

地域と学校、課題をどう捉えているか。立谷沢地区の行事は他の地域に声をかけられるが、会場が立谷沢だと遠いということにもなる。立川小のカリキュラムに地域の行事を入れ、地域に返す。スポ少のバレーボールは狩川でもやるようにしているが、帰りも練習も遅くなるという影響が出ている。

委員

幼・小・中の活動、少子化で学区がどうなるのか心配である。

(2) 平成23年度社会教育・社会体育関係団体補助金(交付金)について

社会教育課長補佐

(平成23年度社会教育・社会体育関係団体補助金について説明)

委員

総合型スポーツクラブ運営補助金は今年度からの補助金か。

社会教育課長

今年度からの補助金。

(3) 平成23年度社会教育委員活動予定について

社会教育課長補佐

(平成 23 年度社会教育委員活動予定について説明)

(4) その他

主査兼図書館係長

社会教育施設が多く、まだ見た事のない人もいると思うが、ぜひ現場に来ていただきたい。

委員

会場を変更して、図書館を見て、西庁舎で会議を行ってはどうか。

社会教育課長補佐

委員の中から、山形県社会教育連絡協議会評議員 1 名と響ホール事業推進協議会委員 1 名の推薦をお願いしたい。今までは両方とも議長からやっていた。

議長

これまでも議長がやっていたので、お引き受けする。

委員全員

了承する。

教育長

人間関係づくりが大事。うわさが広まり、匿名で発信できる時代になっている。事実に基づいて話をしていくのが大事で、住みよい町づくりに協力をお願いしたい。

議長

これで協議を終了します。

15時50分 閉会

※平成 23 年度 庄内町社会教育の基本方針と重点施策

○基本方針

庄内町の「総合計画」に掲げる基本理念と本町の将来像「自然はみんなのエネルギー いきいき元気な田園タウン」のもと、「生きがいつくり・人づくり、オンリー1のまちづくり」の具現化に向け、「個性を伸ばせる教育環境の整備」「生涯をとおした学びとスポーツの推進」「町民の手による文化創造の推進」に努め、子どもから高齢者まで、地域に住むさまざまな世代の人たちがともに学びあい、より楽しく心豊かな生活が送られる社会教育の展開に努めます。

○重点施策

1 みんなが学び続ける生涯学習の推進

(1)「庄内町生涯学習推進基本計画」に基づき、町民一人一人が「いつでも、どこでも、だれでも」が学習に取り組むことができるように学習環境の整備を推進し町民の学習活動の支援に努めます。

(2)住民主体の公民館運営のあり方について検討を進めます。

(3)「庄内町の子ども像」の具現化を進め、『庄内町の教育の重点「青少年教育の重点と家庭との連携」』の推進に努めます。

(4)町立図書館の資料の充実を図りながら、読書環境づくりへの支援、利用者へのサービス向上に努めます。また、各機関と連携を図り、子どもの読書活動を推進します。新しい図書館の建設に向けては、町づくりと関連しながら検討を進めます。

2 地域に根ざした文化の振興

(1)多様化する文化芸術活動の町民ニーズに応えるため、関係諸団体と連携を図りながら、文化創造館「響ホール」を拠点に、文化の発信や交流人口の拡大、鑑賞機会の提供、人材の育成に努めます。

(2)「庄内町文化創造タウン構想実施計画」をもとに、町民が主体的・創造的に文化芸術活動に親しめるよう環境づくりを推進し、文化の薫りが高い町づくりを目指すとともに、文化の森整備事業の検討を進めます。

(3)指定文化財の保護に努めると共に、未指定文化財の調査研究と、農村の伝統・文化の継承に努め、文化財愛護思想の普及と人材の育成に努めます。

(4)亀ノ尾の里資料館及び歴史民俗資料館については、展示内容の充実を図るとともに、生涯学習施設として一層の充実を図ります。

(5)内藤秀因水彩画記念館の計画的な展示・公開と企画展等を開催し、絵画に親しむ機会を充実させ来館者の増加を図ります。

(6)「庄内町歴史公園整備検討会報告書」を踏まえ、これらの整備について検討を進めます。

3 健康と生きがいを支えるスポーツの振興

(1) 生涯各時期に適応したスポーツ・レクリエーション活動を通して、健康・体力の保持増進を図ると共に、指導者の育成と資質の向上を図り、生涯スポーツの推進に努めます。

(2) 競技力向上と競技人口の拡大を図るため、関係諸団体と連携を密にしながら、競技スポーツの振興に努めます。

(3) 町民のニーズに応え、より多くの人に楽しくスポーツに親しんでもらえるよう体育・スポーツ推進体制の整備充実に努めます。

(4) 学校、地域及び関係諸団体と連携を図りながら、スポーツ環境を整備し、設立したばかりの総合型地域スポーツクラブを側面から支援します。

(5) 総合体育館を中核とした町民が憩い、交流ができる機能を持った八幡スポーツ公園構想の推進のため、オープンした第二屋内多目的運動場「ほたるドーム」の有効利用と北側に整備するスポーツ公園の工事を着工します。